

道 徳 教 育

1. 研究主題

豊かな心根をもち、自他ともによりよく生きようとする子どもを育てる道徳教育

—— 道徳的実践力を高めるための場の工夫 ——

2. 「道徳の時間」における指導の工夫

道徳の時間は、自己を見つめる時間である。一つの資料を通して、より高められた価値観に照らし合わせて、子ども一人ひとりが今までの自分は人間としてどんな自分であったかを振り返り、見つめてみる時間であるといえる。

価値に直面した子どもたちが自ら考え、求める働きの中で、より深い価値に向かって本気で関わっていくところに、道徳的行為の実践へのエネルギーが潜んでいると考える。

そこで、本校では授業の中で、できるだけ道徳的価値に対する多様な考え方、感じ方（価値観）に触れさせ、自分とは異なる価値観に気づき、自分の価値観の足りない点を補い、深め、高めることのできる授業を組み立てようと努力している。

(1) 本校の指導過程の基本型

段階	指 導 の 流 れ	方 法	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1. 学習の方向づけを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする価値への方向づけ ・雰囲気づくり ・資料や資料名への導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵、写真、録音、実物などを提示 ・価値に関わる生活経験の想起 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいについての子どもの実態を知る。 ・ねらいとする価値に興味、関心を持たせる。 ・共通の学習課題の方向づけをする。 ・本時の学習課題を確認する。
価 値 の 追 求 と 把	2. 資料を通して、ねらいとする価値の追求と把握を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の問題場面を取りあげ、話し合わせる。 ○基本発問 中心発問につなげるためのもの ◎中心発問 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の提示について <ul style="list-style-type: none"> ・教師の範読 ・テープ ・写真 ・紙芝居 ・絵ばなし ・ペープサート ・お面をかぶる ・動作化 ・効果音 ○多様な考え方を引き出す投げかけ方の工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・動作化、役割演技などを取り入れる。 ・一枚絵を提示する。 ・ゆさぶりの発問、補助発問の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む、聞く視点を明確にする。 ・主人公の置かれた状況がよくわかるように資料の提示の方法を考える。 ・主人公ならびに主人公の置かれた状況に共感させる。 ・児童一人一人の多様な考え方、見方、感じ方を引き出せるような発問を考える。 ・考える時間を十分に取る。 ・児童の話し合いが、広がり深まるように、ゆさぶりの発問や補助発問を考える。

握		○板書を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助発問は、 ・子どもの発言をより詳しく具体的に話すように促す。 ・特定場面（主人公のおかれた状況）を強調する。 という視点で行うよう心がける。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童から出された多様な考えを整理して板書する。
価値の内面的自覚	3. 価値の内面的自覚を図る。 ・一人一人が自分の生き方、考え方を見つめ直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の生き方、考え方を見つめ直す。 ・道徳ノートやワークシートなどに書かせる工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの生活における行為を具体的に想起させる。 ・子どもたちがその時に見せる表情を大切に、子どもの変容をつかむようにする。 ・書くことで、価値に対する自覚をより強めさせる。
意欲づけ	4. 実践への意欲づけを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざ ・格言 ・教師の説話 ・子どもの作文 ・手紙 ・記事 ・心のノート など 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値の押し付けにならないようにする。 ・授業後、さわやかな雰囲気を残すようにする。

- (2) 資料選択と分析
- (3) 資料提示
- (4) 発問
- (5) 役割演技
- (6) 板書
- (7) 価値の内面的自覚

3. 道徳的实践力を高めるための場の工夫

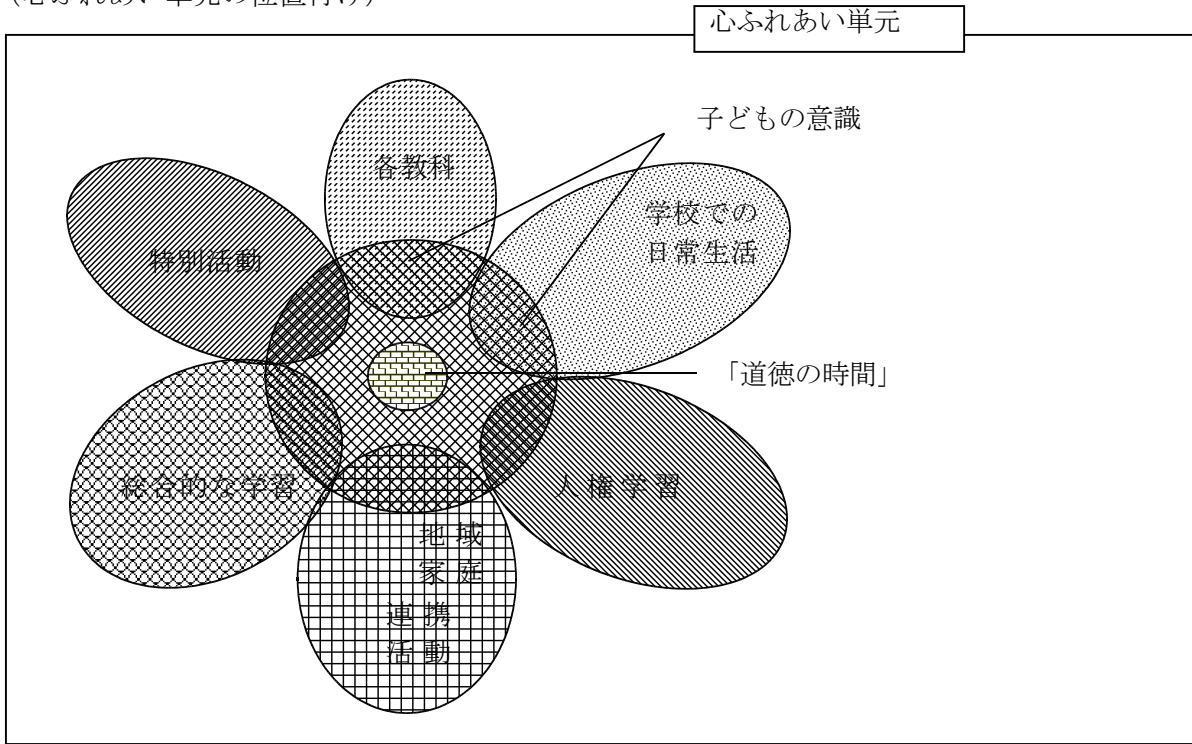
道徳的实践力とは、道徳的实践を支える内的な力（道徳的心情、道徳的判断力、道徳的实践意欲と態度）である。

道徳的实践を支える内的な力は、豊かな体験と道徳の時間の指導により、培われるものである。道徳の時間で高められたものを、体験に生かしたり、体験で得たものを道徳の時間に生かしたりし「体験」と「道徳の時間」は、互いに働き合って子どもたちの心を育てていくものとする。

本校では、週1時間の「道徳の時間」の充実を図るとともに、実践の場である「体験」をも重視しながら、子どもたちに豊かな心根を育てたいと考える。

「道徳の時間」と「豊かな体験活動」の両者を計画的・発展的に関連付け、「総合単元的な道徳学習」を構成する取り組みを進めてきた。そうすることで子どもたちが主体的に道徳学習に関わり、単元の中の意識の連続性が図られ、子どもたちの道徳的实践力をより高めることができるのではないかと考えている。事前指導・事後指導に位置づけられている各教育活動を十分吟味し、それらと核となる「道徳の時間」との関連を明確にし、その単元における道徳性に関わる子どもの意識の流れを重視しながら計画するようにしている。そのひとまとまりの単元を本校では「心ふれあい単元」と名付けている。

(心ふれあい単元の位置付け)



〈実践の場の指導〉

学校教育全体において豊かな心根を育て、内面に根ざした道徳的実践力の育成につながる体験の場と機会を意図的・計画的に設けている。

○豊かな体験

月	行 事 等	常 時 活 動
4	・避難訓練	・児童会
5	・赤十字集会	「大新っ子だより」
6	・交通安全教室	交流活動
7	・大新まつり	・大新タイム
8	・夏休み中のラジオ体操	マラソン
8	・青少年赤十字トレーニングセンター参加	なかよしGの遊び活動
9	・夏休み作品展	・JRC活動
9	・運動会（敬老席を設置）	古切手・使用済テレホンカード・一円玉集め
10	・なかよし遠足	校区内の公園掃除
10	・感謝のつどい	各種募金活動
11	・避難訓練	交流活動
1	・避難訓練	学校間
2	・工作展	国際交流
2	・6年生を送る会	高齢者
2	・音楽会	・委員会
3	(地域の方々を招いて)	・クラブ
		・早朝体力づくり、音楽活動
		・大新交通少年団

地域家庭連携の一覧表

	項 目	内 容	
家 庭 と の 連 携	学年だより	・道徳にかかわる授業の内容または、子どもの心を豊かにするための内容を知らせ、内容を家庭でも話し合う。	
	大新だより	・児童の作文、感想文を載せる。	
	授業参観と懇談会	・授業参観や懇談会の保護者の感想などを残す。	
	発展途上国への援助	・1円玉募金、古切手集め、使用済テレホンカード集め、発展途上国への援助や社会福祉活動に協力する。	
	家庭訪問	・機会をとらえて家庭訪問し、保護者と協力して子どもの育成を図る。	
	公園清掃	・毎月（なかよしグループで） ・集団下校時（各学期1回程度）	環境社会部の保護者と子どもで公園清掃をする。
	早朝交通指導	・子どもの安全を守り、交通安全の意識を高める。（職員、月初め） ・登校時の交通指導を行い、子どもの安全を守る。（保護者、中旬）	
	大新まつり	・ゲームコーナー、夜店等を行う。	
	祭りパトロール	・夏祭り、東の宮祭りのパトロールをする。	
	講演会(保護者学級)	・人権尊重の意識を高める。	
	音楽会	・1年間の音楽や学習の努力の足跡を披露する。	
	交通安全教室	・交通安全の意識の向上、正しい自転車の乗り方を学ぶ。	
	保健だより	・児童の健康面を知らせることによって保護者に啓発する。	
学校保健安全委員会	・子どもの「こころ」と「からだ」「安全」について、学校・家庭・地域ぐるみで意見を交換し、考え・実践活動をする。		
携	給食試食会(1年生)	・給食の試食を行い、栄養のバランス、マナー、学校給食の実情を知らせ、食生活の意識を育てる。	
地 域 と の 連 携	大新地区見守り隊	・通学路の各所に立って児童の登下校の安全を見守っていただく。	
	郷土資料室	・郷土の発展に尽くした人の業績紹介や昔使ったものの資料の展示をする。	
	集会、社会、生活科 総合的な学習	・地区の方、日頃お世話になっている人を集会にご招待したり地区の人の話を聞いたりする。	
	音楽会	・地区の人も迎えて音楽や学習の努力の足跡を披露する。 きしゅう君の家・見守り隊の方へ招待状を出す。	
	運動会	・地区のお年寄りの方を迎えて参観して頂く。	

